

法人名 医療法人社団 和風会
所在地 東京都青梅市長淵九丁目1412番地の4

医療法人整理番号 7 5 7

貸借対照表
(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	【 3,038,189 】	I 流動負債	【 2,087,877 】
現金及び預金	814,116	買掛金	347,467
事業未収金	2,013,511	短期借入金	120,268
たな卸資産	39,158	1年内返済予定の長期借入金	487,215
前払費用	29,409	未払金	563,105
未収入金	34,150	未払費用	146,949
仮払金	1,317	未払法人税等	131,931
立替金	794	預り金	83,630
繰延消費税	117,405	仮受金	1,667
貸倒引当金	△ 1,835	入院保証金	52,105
		賞与引当金	153,540
II 固定資産	【 8,994,364 】	II 固定負債	【 6,537,482 】
1 有形固定資産	(7,130,245)	長期借入金	5,505,981
建物	3,002,983	受入保証金	28,450
建物附属設備	1,537,361	退職給付引当金	1,003,050
構築物	148,537		
車両運搬具	18,377		
器具備品	464,673		
土地	1,927,163		
建設仮勘定	5,830		
その他の有形固定資産	25,321		
2 無形固定資産	(510,478)		
借地権	249,463		
電話加入権	1,105		
水道施設利用権	4,193		
ソフトウェア	255,718		
3 その他の資産	(1,353,640)		
出資金	130		
有価証券	45,481		
長期貸付金	60,442		
差入保証金	9,948		
敷金	29,424		
保険積立金	826,510		
繰延税金資産	327,519		
長期未収入金	17,694		
長期前払費用	8,323		
貸倒引当金	△ 54		
資産合計	12,032,553		
		負債合計	8,625,359
		純資産の部	
		科目	金額
		I 出資金	【 350,000 】
		II 積立金	【 3,057,193 】
		繰越利益積立金	3,057,193
		純資産合計	3,407,193
		負債・純資産合計	12,032,553

法人名 医療法人社団 和風会

医療法人整理番号 7 5 7

所在地 東京都青梅市長淵九丁目1 4 1 2 番地の4

損 益 計 算 書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		12,961,468
2 事業費用		
(1) 事業費	12,727,122	
(2) 本部費	—	12,727,122
本来業務事業利益		234,347
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		495,973
2 事業費用		483,096
附帯業務事業利益		12,877
事業利益		247,224
II 事業外収益		
受取利息	20	
その他の事業外収益	289,889	289,909
III 事業外費用		
支払利息	43,670	
その他の事業外費用	1,106	44,775
経常利益		492,358
IV 特別利益		
固定資産売却益	4,307	
その他の特別利益	9,366	13,673
V 特別損失		
固定資産売却損	651	
その他の特別損失	0	651
税引前当期純利益		505,380
法人税・住民税及び事業税	177,659	
法人税等調整額	△ 12,652	165,007
当期純利益		340,373

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適切であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当なし

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法により評価しております。
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法により評価しております。

(2) たな卸資産

たな卸資産の評価は、最終仕入原価法によっております。(貸借対照表価額は時価の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

4 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

職員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法(退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算し、計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

(1)退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

(2)所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については貸借処理によっております。

7 重要な会計方針を変更した旨等

該当なし

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当なし

9 担保に供されている資産に関する事項

(1)担保に供している資産

建物	2,451,753千円
建物附属設備	652,906千円
<u>土地</u>	<u>1,281,042千円</u>
計	4,385,702千円

(2)担保に係る債務

1年内返済予定の長期借入金	209,784千円
<u>長期借入金</u>	<u>3,476,538千円</u>
計	3,686,322千円

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

該当なし

11 重要な偶発債務に関する事項

該当なし

12 重要な後発事象に関する事項

該当なし

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1)ファイナンス・リース取引

貸借処理をしたファイナンス・リース取引のリース料総額及び未経過リース料の当期末残高は以下のとおりであります。

	リース料総額 (千円)	未経過リース料 (千円)
器具備品	99,452	57,367
車両運搬具	282,170	155,056
その他の有形固定資産	865	299
計	382,487	212,721

(2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
貸倒引当金	542 千円
賞与引当金	44,081 千円
退職給付引当金	287,976 千円
繰延税金資産小計	332,599 千円
評価性引当額	— 千円
繰延税金資産合計	332,599 千円
繰延税金負債	
長期未収入金	5,080 千円
繰延税金負債合計	5,080 千円
繰延税金資産の純額	327,519 千円

(3) 有形固定資産の減価償却累計額

5,870,599千円